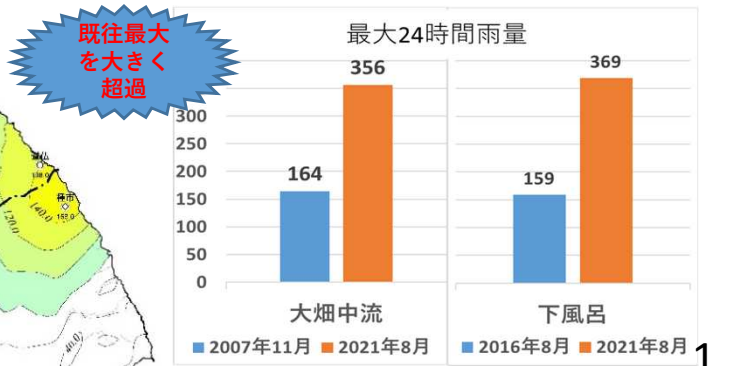
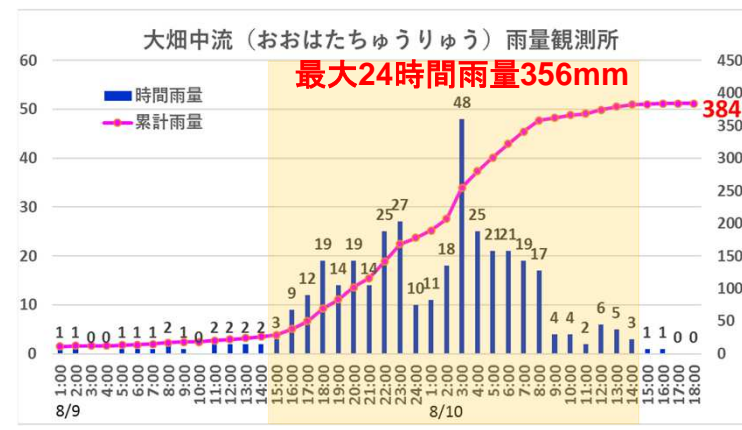
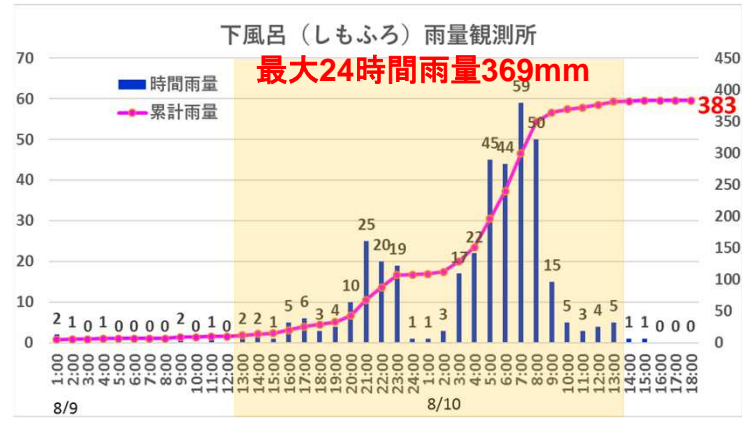
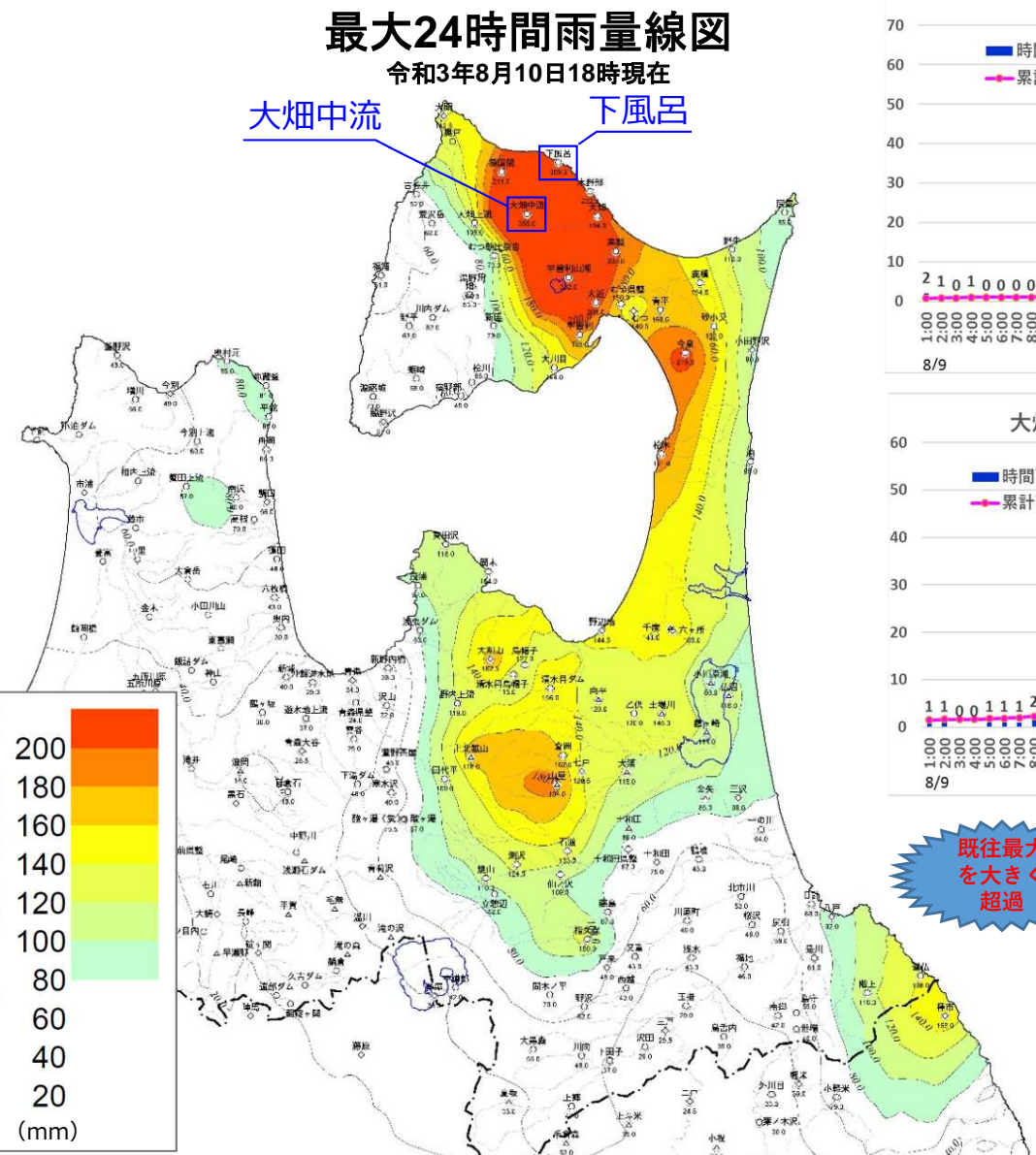
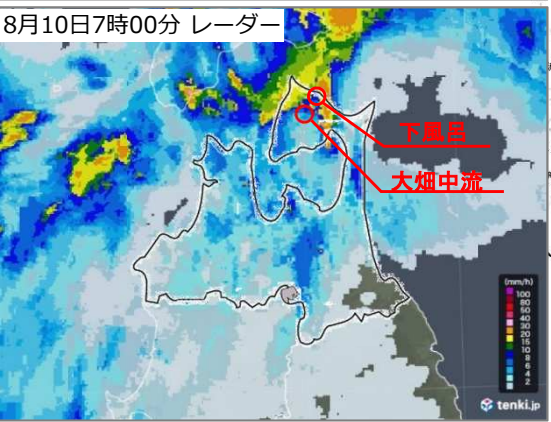
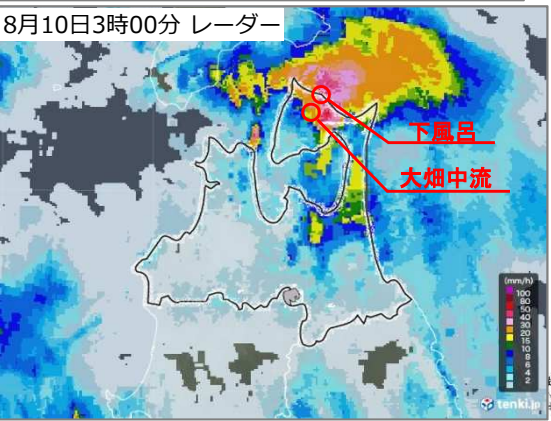
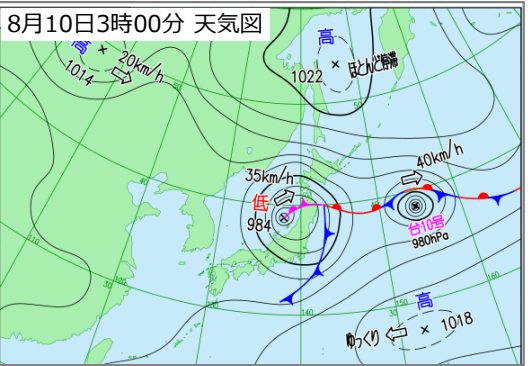


# 青森県における近年の災害

令和5年6月2日  
青森県県土整備部

# 令和3年 水害状況－1 (令和3年8月9日から10日にかけての豪雨)

- 8月9日から10日にかけて、台風第9号から変わった温帯低気圧の影響で、下北地域、上北地域で豪雨となった。
- 下風呂観測所では、24時間の降雨量が369mmに達し、これは2001年の観測開始以来、最大の雨量。



※数値等は速報値であり、今後変わる場合があります

# 令和3年 水害状況一2 (令和3年8月9日から10日にかけての豪雨)

国道279号小赤川橋落橋 (むつ市)



高瀬川決壊状況 (七戸町川口)

中野川浸水状況 (七戸町治部袋地区)

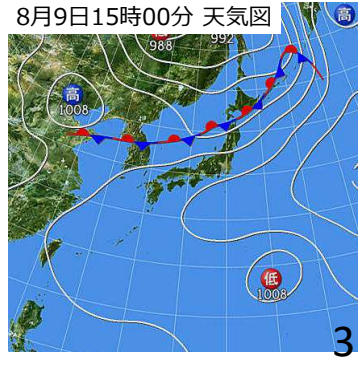
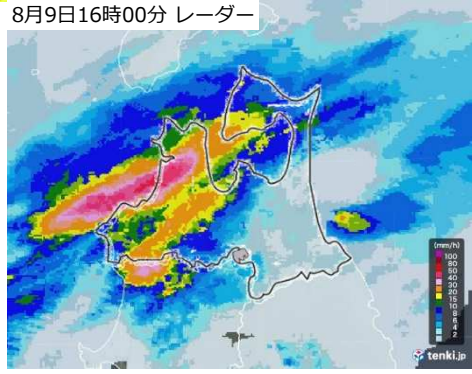
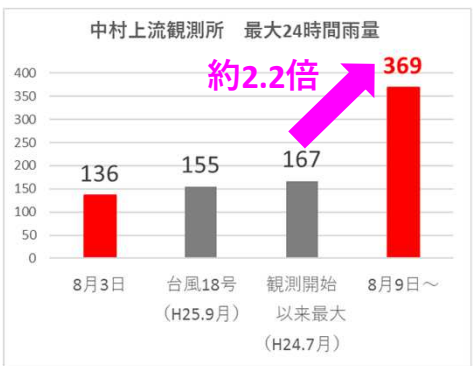
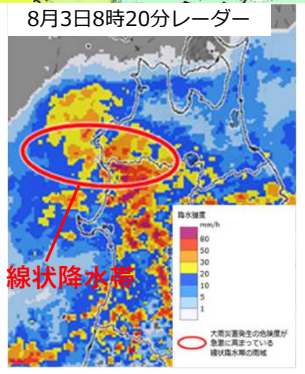
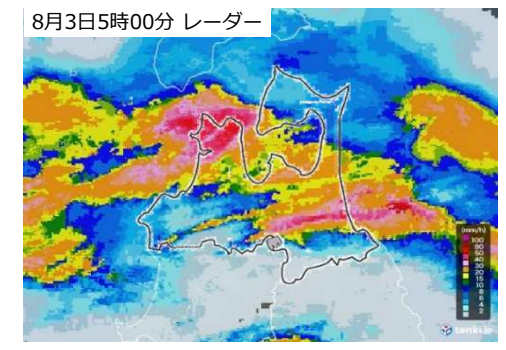
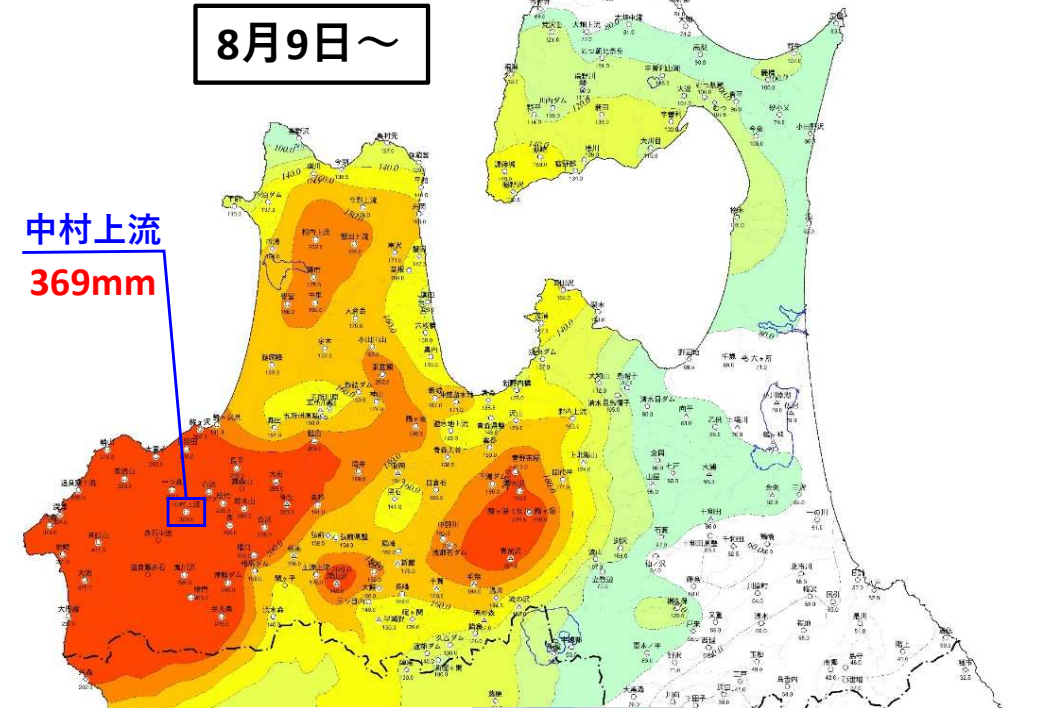
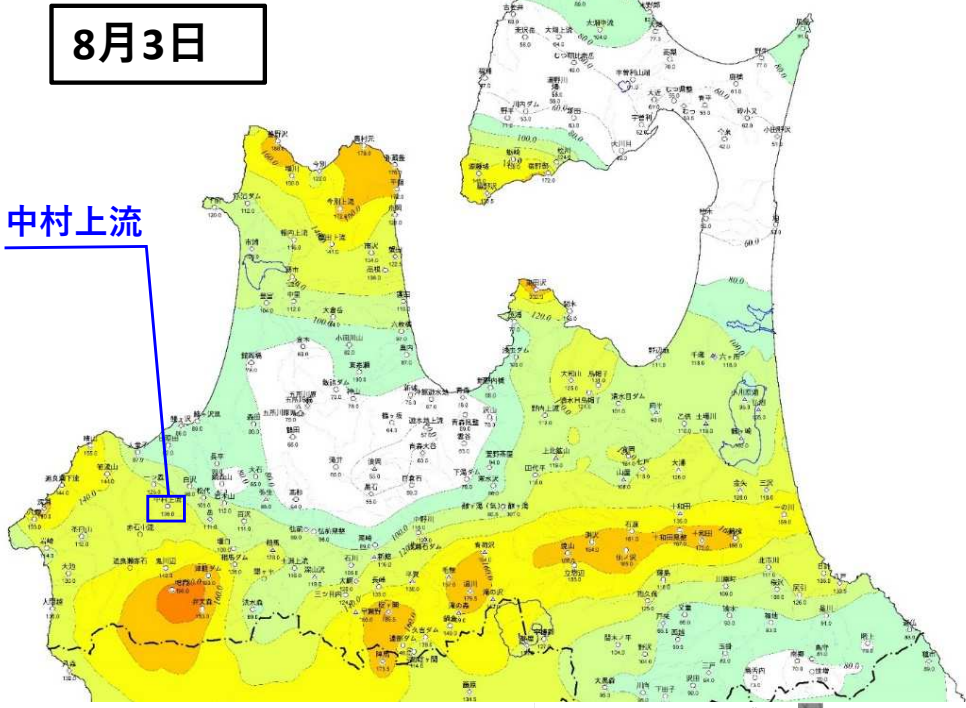


# 令和4年 水害状況-1 (令和4年8月3日からの豪雨)

- 8月3日前線の影響で県内全域で豪雨となった。
- 県内で初めて線状降水帯が津軽地方で確認され、深浦町及び鯉ヶ沢町で記録的短時間大雨情報が発表された。
- 県内33箇所の観測地点で、最大24時間雨量150mm以上を観測した。

- 8月9日から前線の影響で主に中南、西北、鯉ヶ沢地域で豪雨となった。
- 9日には深浦町で記録的短時間大雨情報が2回発表された。  
【①7:16(時間雨量100mm) ②14:17(時間雨量90mm)】
- 中村上流観測所では最大24時間雨量が369mmに達し、これは2001年の観測開始以来、最大。

## 最大24時間雨量線図



二級河川 中村川 (鱒ヶ沢町)



## 二級河川 脇野沢川 (むつ市)



## 国道101号 (深浦町)



## 岩崎西目屋弘前線 (深浦町)



## 開晴橋 (鯨ヶ沢町：町道山子線)



# 小赤川 災害関連緊急砂防事業 (令和3年度災害への対応)

令和3年8月9日から10日にかけての大雨により、むつ市周辺では記録的な降雨量を観測し、小赤川では大量の流木が河道を閉塞し、下流の家屋等が甚大な被害を受けたことから、災害関連緊急砂防事業により既設の砂防堰堤を改良し、再度災害の防止を図る。

流木 河道閉塞状況



不安定土砂・流木堆積状況

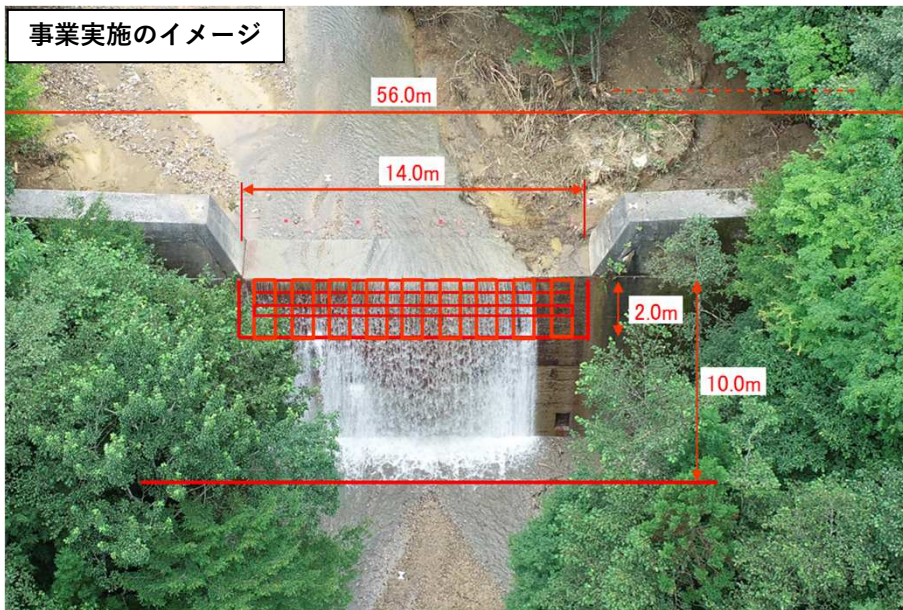


建物損壊

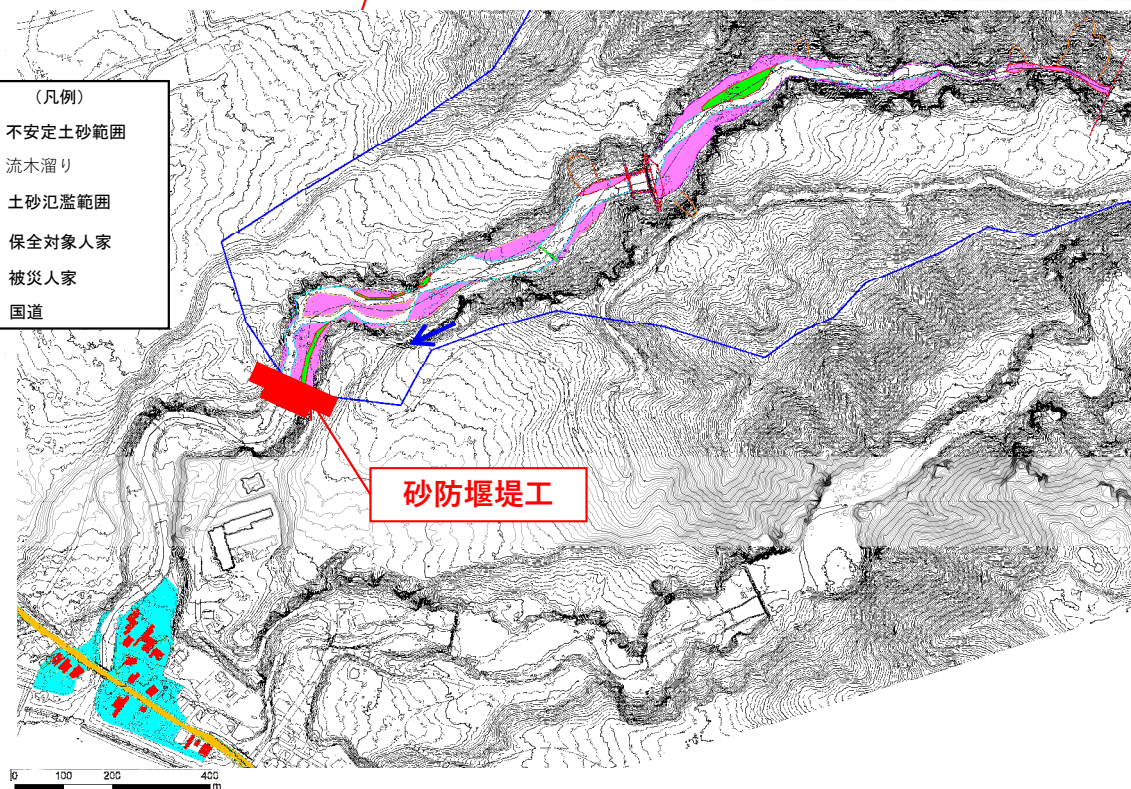


崩壊地

事業実施のイメージ



- (凡例)
- 不安定土砂範囲
  - 流木溜り
  - 土砂氾濫範囲
  - 保全対象人家
  - 被災人家
  - 国道





# 中村川 河川激甚災害対策特別緊急事業 (令和4年度災害への対応)



令和4年8月3日からの大雨により、鱒ヶ沢町周辺では記録的な大雨となり、二級河川中村川水系中村川では、床上浸水305戸（うち半壊29戸）、床下浸水62戸の甚大な被害が発生したことから、河川激甚災害対策特別緊急事業により概ね5年間を目途に早期に浸水被害の軽減を図る。

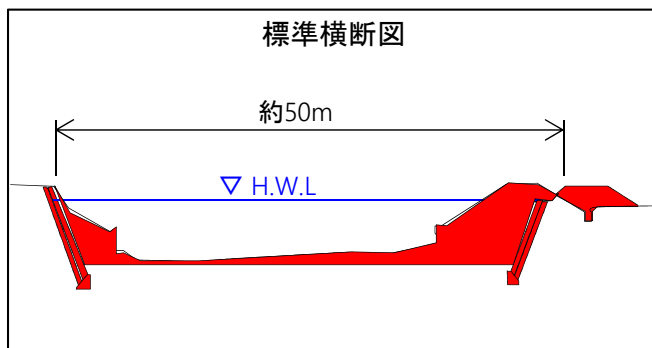
位置図



【全体計画】

河川名 : 二級中村川水系中村川  
 事業内容 : 築堤 400m、掘削1,400m  
 護岸1,300m、橋梁 1橋 等  
 事業費 : 5,000百万円 (国費2,500百万円)  
 着手年度 : R4年度～  
 施工地 : 鱒ヶ沢町

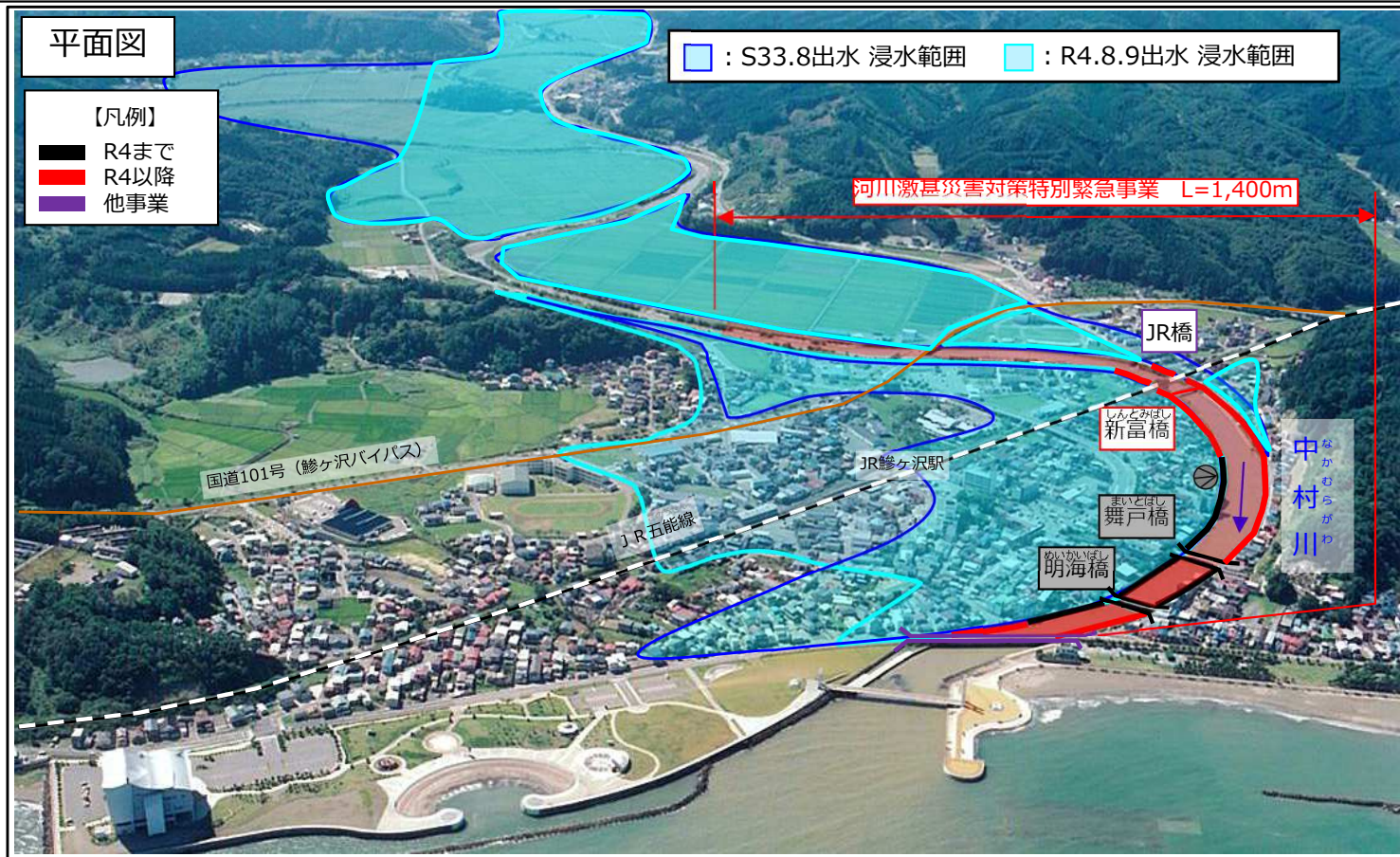
標準横断面図



平面図

- 【凡例】
- 黒線 R4まで
  - 赤線 R4以降
  - 紫線 他事業

□ : S33.8出水 浸水範囲 □ : R4.8.9出水 浸水範囲



浸水戸数

発生年月日	浸水面積 (ha)	浸水戸数 (戸)		
		床上	床下	計
S33.8.10	715	69	231	300
S50.8.6	296.1	55	4	59
S52.8.4	0.9	0	20	20
H2.9.19	0.4	0	4	4
R4.8.9	200.0	305	62	367

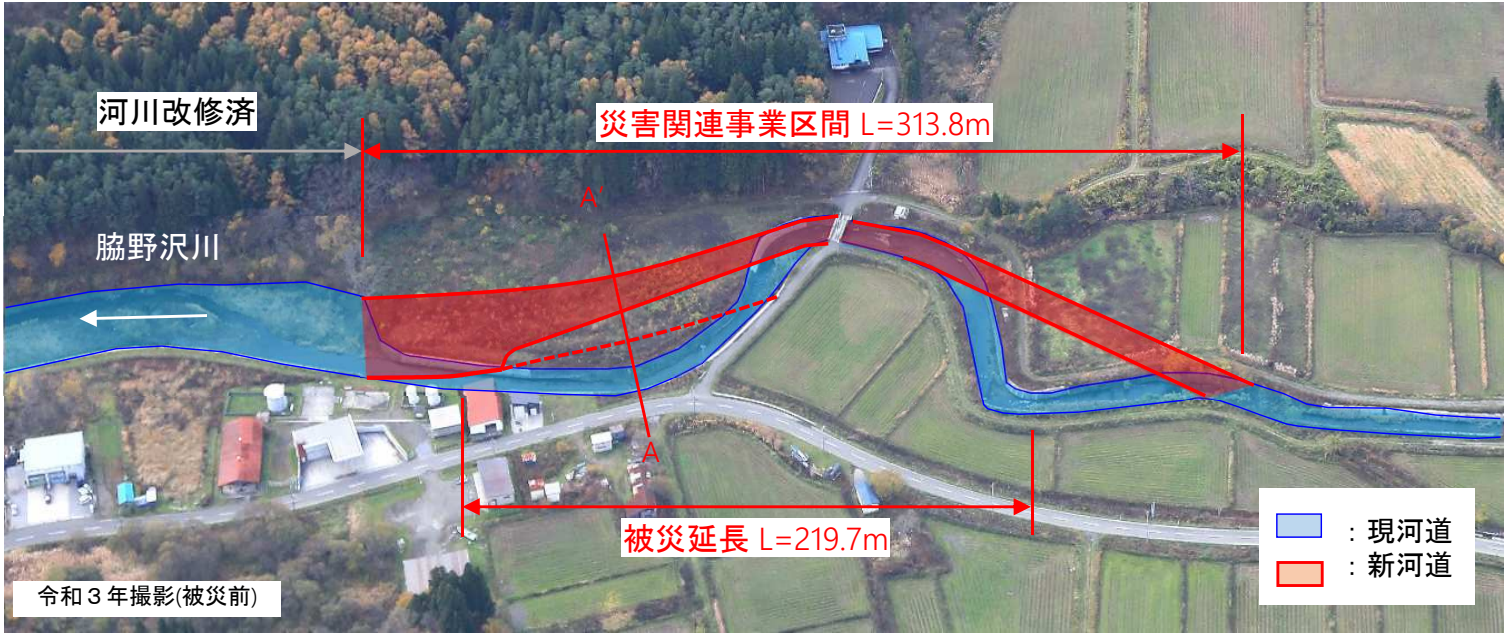


# 脇野沢川 災害関連事業 (令和4年度災害への対応)

脇野沢川では、溢水による農地の浸水や護岸崩壊等の甚大な被害が発生したが、災害復旧事業による原形復旧のみでは事業効果が限定されることから、**災害関連事業（改良復旧）**により、**屈曲箇所**の是正や**河道拡幅等**を行って**流下能力を向上**させ、再度災害防止を図る。



▲農地浸水状況



令和3年撮影(被災前)

### 事業概要

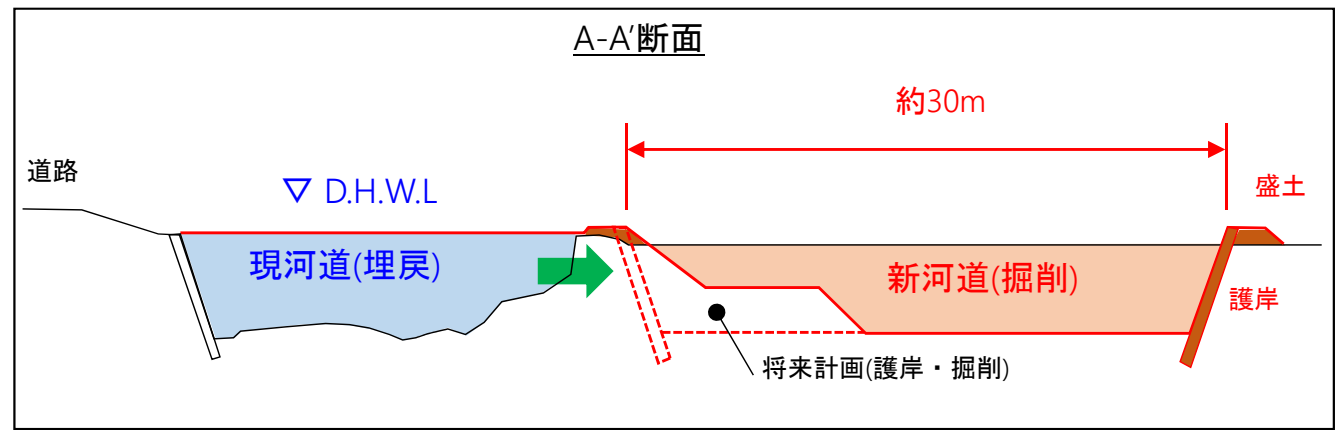
- 河川名 : 二級河川 脇野沢川水系脇野沢川
- 施工地 : むつ市脇野沢
- 事業内容 : 延長 L=313.8m  
河道拡幅、護岸等
- 事業費 : 約2.8億円 (うち改良費約0.9億円)
- 着手年度 : 令和4年度～令和6年度 (予定)



▲倉庫の被災状況

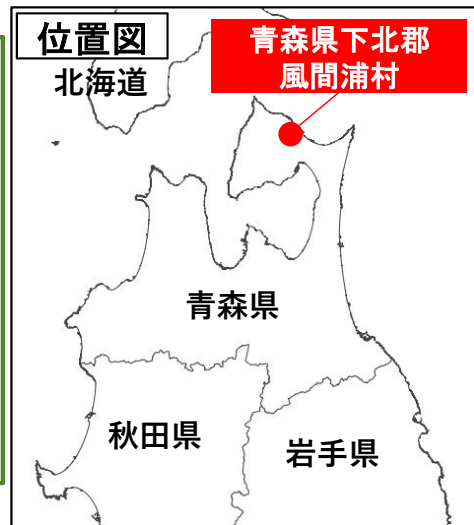


▲護岸崩壊の状況

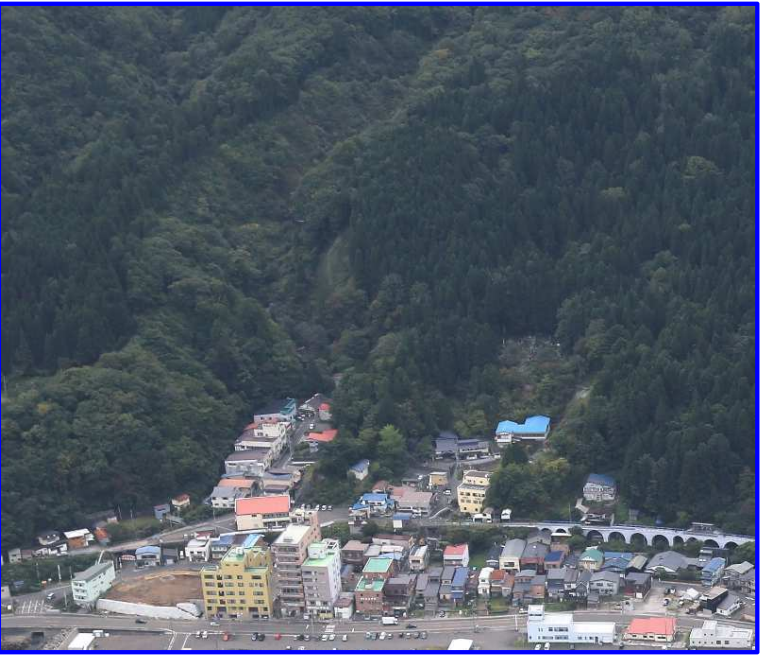


# 砂防施設の効果事例 (令和3年8月の実績)

災害発生日 : 令和3年8月10日  
 降雨状況 : 連続雨量 394mm (8月8日22時~11日7時)  
 時間最大雨量 59mm (8月10日6時~7時)  
 ※下風呂雨量観測所  
あおもりけん しもきたぐん かざまうらむら しもふる  
 発生箇所 : 青森県下北郡風間浦村下風呂  
 崩壊状況 : 土石流捕捉量 (調査中)  
 状況 : 8月9日からの大雨により土石流が発生したが、砂防堰堤が整備されており土砂及び流木を捕捉。下流地区への被害を未然に防止し効果を発揮した。



土石流発生前 (H30.10)



土石流発生直後 (R3.8.11)



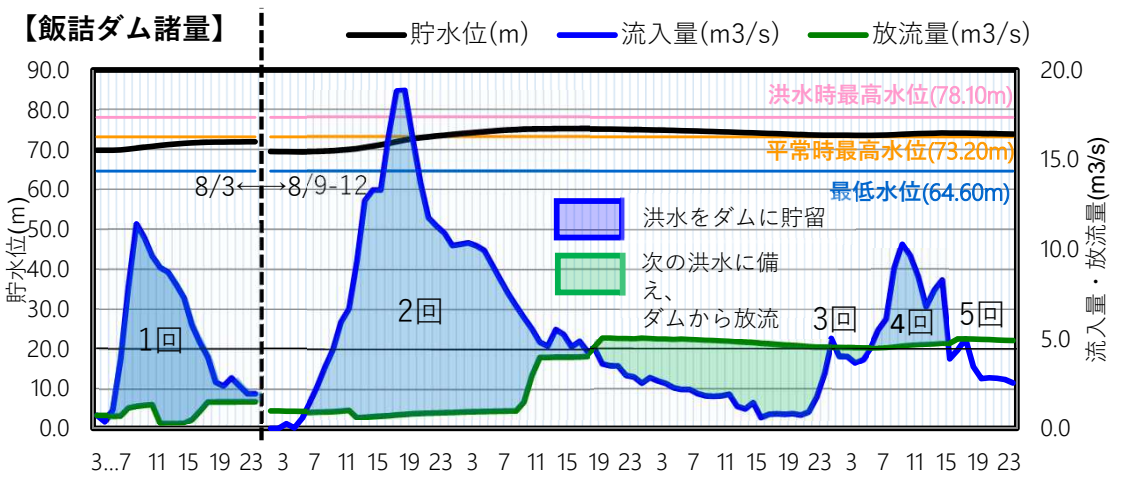
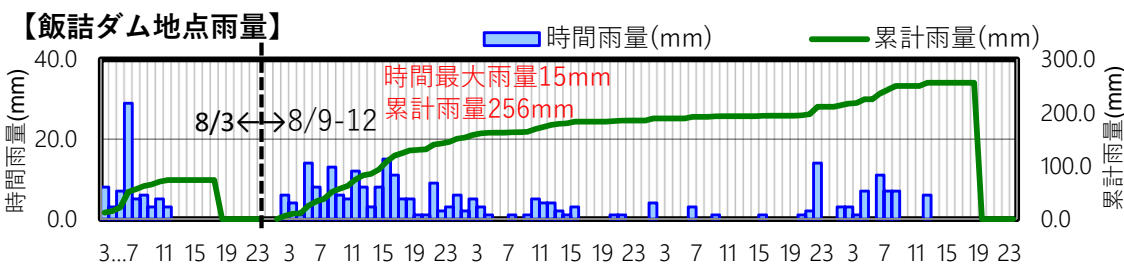


# ダムの洪水調節の効果 (令和4年8月の実績)

- 令和4年8月豪雨では、県土整備部管理 **9ダム中8ダム**で、**のべ28回**、合計22百万m<sup>3</sup>の洪水調節を実施
- 8月9日から12日にかけて、長雨となり、繰り返しの洪水調節が必要となったため、速やかに水位低下させる操作を行うなど、貯水容量を回復
- これらの操作により下流河川の水位を低減

ダム名	ダム地点の8月合計雨量(5年平均:mm)	ダム地点の8月合計雨量(R4累計:mm)	洪水調節回数(回)	洪水調節容量(千m <sup>3</sup> )	貯留量(千m <sup>3</sup> )	水位低減	
						(最大:m)	日時
下湯ダム	148	645	3	8,900	5,350	2.24	8月3日
浅虫ダム	178	583	4	60	13	0.39	8月11日
遠部ダム	236	615	1	1,120	18	0.25	8月3日
久吉ダム	218	720	0	4,420	0	-	
世増ダム	141	335	1	21,900	3,295	1.04	8月3日
飯詰ダム	160	<b>3.1倍</b> 503	7	1,280	<b>1.4倍</b> 1,838	0.31	8月9日
小泊ダム	155	<b>5.2倍</b> 812	7	247	<b>1.8倍</b> 467	0.44	8月9日
清水目ダム	271	500	1	2,120	627	0.14	8月3日
川内ダム	246	589	4	9,500	10,486	0.58	8月3日
合計			28		22,094		

↑既往最大は赤字



世増ダム

ダムへ貯留状況  
8/4 6:00頃 貯水位EL98.65m



下湯ダム

ダムへの流入状況  
8/9 16:00頃 流入量約110m<sup>3</sup>/s



浅虫ダム

洪水吐きトンネルへの放流状況  
8/12 5:30頃 放流量約4.4m<sup>3</sup>/s



小泊ダム

貯水位低下のためバルブから放流  
8/15 16:00頃

# 水害リスク情報の充実

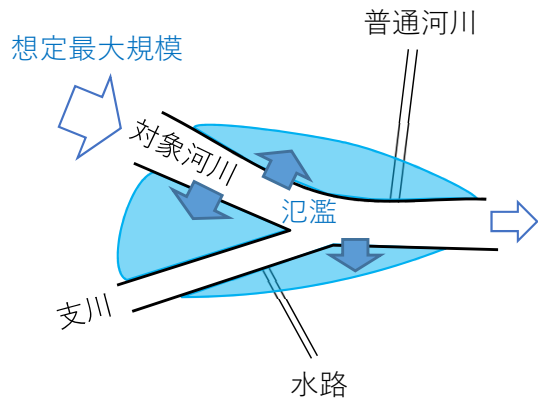
- 令和5年5月末までに洪水予報・水位周知河川(38河川)及びダム下流河川(9河川)の計44河川(※)について、洪水浸水想定を公表している。
- 今後は上記以外の河川についても浸水想定を作成し、空白地帯の解消を図るとともに、リスクマップ(多段階浸水想定)の作成にも着手する予定である。

※重複河川あり

## 対象河川を拡大

○現在公表されている浸水想定(水防法)  
想定最大規模及び河川整備の計画規模の降雨

※イメージ

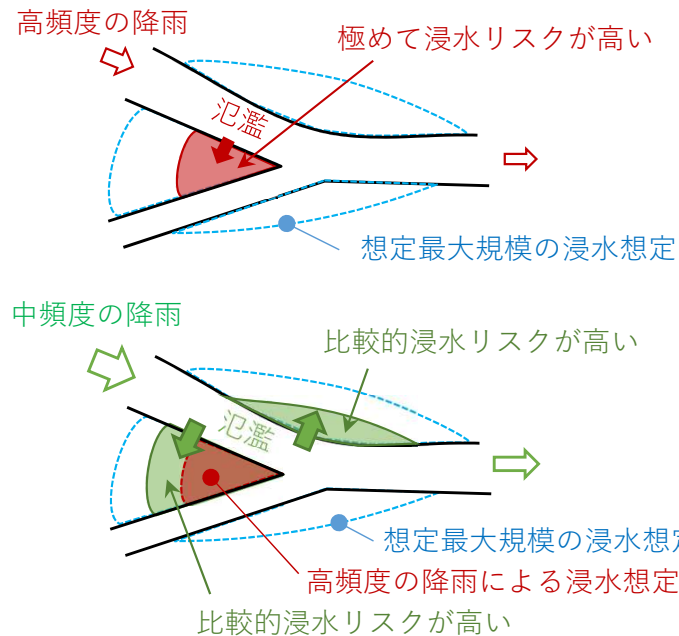


対象河川が想定最大規模の降雨により  
氾濫した場合を想定

## 新規着手

○リスクマップの例1  
中高頻度の降雨による浸水想定

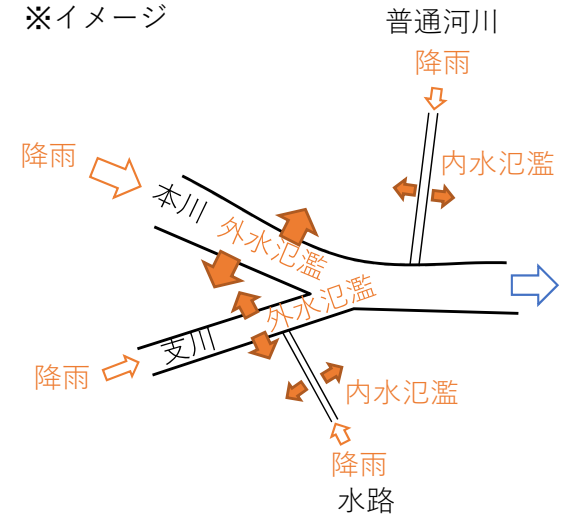
※イメージ (降雨量: 高頻度 < 中頻度 < 想定最大)



頻度別の浸水想定により、浸水リスクが把握しやすい

○リスクマップの例2  
内水氾濫を考慮した浸水想定

※イメージ



本川や支川の外水氾濫のほか、  
普通河川や水路等の内水氾濫を  
同時に想定した浸水想定

